



市内のイベントを随時発信！

十和田市ブログ駒の里

検索

12/16

十和田市のまちづくりなどに対して提言 北里大学生と市長が懇談

北里大学で大学生からまちづくりや大学生活などについての意見を伺い、市政運営や施策に生かすことを目的に市長との懇談会が開催されました。

参加した13人の学生からはイベントの周知方法や歩道の整備、まちづくりなどについて意見や要望、質疑が出されました。市長は一つ一つ丁寧に答えるとともに、本市で開催されるB-1グランプリのボランティアへの参加をお願いするなど有意義な懇談が行われました。



学生からの問い掛けに身振り手振りを交え、熱心に答える小山田市長

12/15

世界に誇る十和田ブランド 地域ブランド「武士道」誕生

市立新渡戸記念館のサポート団体「kyosokyodo 共創郷土」(新渡戸富恵会長)が、十和田を世界に発信しようと地域ブランド「武士道」を企画。初めての商品となる日本酒「武士道」の完成を小山田市長に報告しました。この取り組みは、市の「元気な十和田市づくり市民活動支援事業」を活用したもので、パッケージのデザインは世界的なデザイナー、コシノジュンコさんが行い、日本人の慎み深さと強い精神、武士道の誉れを表しています。



新渡戸会長(写真左)は「十和田の歴史などを武士道の精神とともに発信したい」と、意気込みを話しました

12/13

合言葉はLet's use English together! イングリッシュデイ in Towada 開催

A L T (外国語指導助手)と一緒に英語でさまざまな活動を行い、英語に興味を持ってもらうことを目的に、市民文化センターで「イングリッシュデイ in Towada (冬)」を開催し、市内小中学生89人が参加しました。

参加者は各コースに分かれ、クリスマスカードの作成や発表会に使う小道具を作った後、クリスマスソングを歌ったり、クリスマスのお願いなどを全て英語で発表しました。



A L Tと一緒にダンスを練習。コミカルな動きでみんなが笑顔に

12/12

世界に誇れる住みよいまちを目指そう セーフコミュニティ再認証が内定

セーフコミュニティの再認証を目指し、12月4日、5日の2日間、市役所で海外の公認認証審査員2人による現地審査が行われました。

審査員は、自殺予防、交通事故予防など8領域の活動や外傷データの収集方法を確認しました。

審査の結果、12月12日付で、審査員の署名による再認証取得の通知があり、市では、2月27日に市民文化センターで認証式を執り行うこととしています。



ボランティアによる地域活動「こころの広場ルピナス」では、相談の様子を再現しました

11/28

心のこもったいい声でコミュニケーション ちとせ小で落語講演会開催

市立ちとせ小学校(高木守雄校長)でミュージカル落語家の三遊亭究斗さんを招いて「いい声でコミュニケーション講演会」が開催されました。これは、同校が取り組んでいる「心に響くいい声日本一」を目指した教育活動の一環として行われ、全校児童が参加しました。

究斗さんが、母音の言い回しや小話を学年ごとに挑戦させると、児童たちはいい声を競い合い、はつらつとした声を響かせていました。



講演終了後、全校児童とともに記念撮影。みんな一緒に「いい声、日本一！」

11/27

時代を超えて愛される名曲の数々を披露 NHK「BS日本のうた」公開収録

市民文化センターで市制施行10周年記念事業の一つとして、NHK「BS日本のうた」の公開収録が行われ、約800人の観客が訪れました。

収録には小柳ルミ子さんや野口五郎さん、中条きよしさんから11組の歌手が出演。数々の名曲と多彩な歌手の競演に、会場は熱気に包まれ、盛り上がりを見せていました。

この模様は2月1日(日)午後7時30分からBSプレミアムで放送される予定です。



県立三本木農業高校の生徒の皆さんも収録に参加し、歌手の皆さんとコラボレーション

Pick Up

B-1 グランプリ in 十和田

開催日は本年10月3日、4日に決定！

12月2日、富士屋グランドホールで第2回B-1グランプリ in 十和田実行委員会(石川正憲委員長)が開催されました。

委員会には約60人の委員らが参加。事務局から市中央公園周辺を主とした中心市街地を会場に平成27年10月2日(金)に前夜祭を、3日(土)、4日(日)に大会を開催することや大会の正式名称を「第10回ご当地グルメでまちおこしの祭典! B-1グランプリ in 十和田」とすること、大会に向けて市民参画計画や広報・観光客誘致計画など各種計画を策定していくことなどが説明され、質疑応答の後、決定しました。

質疑応答の場面では、委員から日程を決めた理由やボランティアの確保・育成の見通し、事務局体制に関する質疑や意見が出されました。

会議終了後の記者会見で、大会長の小山田市長は「大会まであと10カ月しかないという気持ちで、スピードアップして取り組み、第10回大会にふさわしい大会になるように市民を挙げておもてなしをしなければならぬ」と、話しました。



議論が交わされた実行委員会



記者会見では、大会に約60団体が出展する見通しであることが示されました